

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-103	Year Month Day Time 2007 年 5 月 3 日 15 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
<b>延岡学園高</b>		<b>DeMatha</b>										
77 ●	<table border="1"> <tr><td>19 1st</td><td>32</td></tr> <tr><td>18 2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>19 3rd</td><td>35</td></tr> <tr><td>21 4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	19 1st	32	18 2nd	14	19 3rd	35	21 4th	20	OT		101 ○
19 1st	32											
18 2nd	14											
19 3rd	35											
21 4th	20											
OT												

主審: Referee 片寄 達 (宮城)  
副審: Umpire 谷地 温 (秋田)  
テーブル・オフィシャルズ: Table officials 男鹿工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	✓	福 留 貴 明	CAP	0	0	0	0	1	1	✓	Corey Smith	CAP	0	0	0	0	3
5	×	シダット	ジャーラ	13	0	5	3	4	2	✓	Byron Richards		0	0	0	0	1
6	×	和 田 力 也		14	1	4	3	1	3	×	Austin Freeman		21	1	9	0	1
7	×	永 吉 佑 也		7	0	1	5	3	4	×	Kenny Tate		10	0	4	2	2
8	×	前 田 陽 介		12	2	3	0	2	10	✓	Joe Smith		0	0	0	0	3
9		重 永 和 樹		-	-	-	-	-	11	✓	Phillip Green		4	0	1	2	3
10	×	内 村 祥 也		10	3	0	1	2	12	✓	Marcus Rouse		4	0	2	0	0
11	✓	大 坪 将 太		0	0	0	0	0	13	✓	Tyler Carter		4	0	2	0	2
12	✓	川 口 裕 也		0	0	0	0	0	20	✓	Bryon Allen		5	1	1	0	1
13		湯 地 寛 文		-	-	-	-	-	21	×	Isaiah Tate		13	1	5	0	0
14	✓	中 村 友 哉		2	0	1	0	0	30	×	Jeff Peterson		13	1	3	4	2
15	✓	川 元 崇 史		15	5	0	0	0	44	×	Jerai Grant		27	0	12	3	2
16	✓	横 瀬 孝 樹		3	0	1	1	2				-	-	-	-	0	
17	✓	山 口 涉		0	0	0	0	0				-	-	-	-	0	
18	✓	川 畑 卓 也		1	0	0	1	0				-	-	-	-	0	
コーチ		北 郷 純一郎							コーチ		Mike Jones						
AC-コーチ		倉 慶一郎															
合 計				77	11	15	14	15	合 計				101	4	39	11	20

※ ×:スターター ✓:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率\* イントシュート 2P:2P率\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

本大会の目玉の一つであるアメリカのDeMatha Catholic High School がいよいよ登場し、日本の強豪チームがどこまで立ち向かえるか、注目の一戦となった。

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。DeMathaは開始早々#4 Grantのダンクシュートなどでペースを掴むとともに、観客を沸かす。残り7分、0-7 DeMathaリードでたまたま延岡のタイムアウト。その後は3-2のゾーンにディフェンスを変え、なんとかリズムを掴もうとする。延岡はDeMathaのオールコートディフェンスをかいぐり、速いテンポでアウトサイドシュートを延岡は狙い、#10内村、#8前田の3Pなどで追い上げようとするが、ゴール後のDeMathaの速攻が連続して決まり、結局、19-32で終了。

第2Qは、延岡の#10内村の3Pで始まり、その後も安定してチームのミドルシュートが決まり出す。DeMathaは1Qと違い、ターンオーバーが始め、アウトサイドシュートもなかなか決まらない。残り5分、32-41で延岡はタイムアウトを取り、オールコートゾーンプレスを出す。DeMathaはさらに攻めあぐね、連続得点が入らない。36-46と延岡が追い上げて前半終了、この10分間は延岡学園が18-14と健闘した。

第3Q、DeMathaが立ち上がりから1-3-1のゾーンプレスを仕掛けると、延岡は高さ、スピードに圧倒され、シュートへのパスが狂い始める。#21テイト、#4 Grantが連続して速攻からのレイアップ、ダンクシュートを決め、どんどん差をつける。対する延岡もメンバーを多く投入し、流れをつかもうとするが、ゴール近辺のシュートを止めることができず、#4 Grantがこの試合5本目のダンクシュートで50-81と大きく引き離し、第3Q終了。

第4QもDeMathaは攻撃の手をゆるめず、#3フリーマンのレイアップなどで着実に得点を重ねる。残り5分にはメンバーを総入れ替えし、余裕を見せる相手に対して延岡は#6和田のジャンプシュートや#15川元の3Pなどで応戦するがなかなか得点は縮まらない。最終スコア77-101でDeMathaが力の差を見せつけた。